

平成24年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年5月11日

上場取引所 大

上場会社名 一正蒲鉾株式会社

コード番号 2904 URL <http://www.ichimasa.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 野崎 正博

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 滝沢 昌彦

TEL 025-270-7111

四半期報告書提出予定日 平成24年5月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年6月期第3四半期の連結業績(平成23年7月1日～平成24年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年6月期第3四半期	24,817	4.4	2,189	33.8	2,174	33.8	1,040	14.1
23年6月期第3四半期	23,771	3.9	1,636	△31.2	1,625	△30.4	911	△41.0

(注) 包括利益 24年6月期第3四半期 1,129百万円 (29.2%) 23年6月期第3四半期 874百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年6月期第3四半期	112.30	—
23年6月期第3四半期	98.38	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年6月期第3四半期	20,248	6,895	34.1	744.58
23年6月期	17,770	5,859	33.0	632.61

(参考) 自己資本 24年6月期第3四半期 6,895百万円 23年6月期 5,859百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年6月期	—	0.00	—	10.00	10.00
24年6月期	—	0.00	—	—	—
24年6月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年6月期の連結業績予想(平成23年7月1日～平成24年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,800	0.6	1,270	△17.6	1,300	△14.6	680	333.0	73.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)：有
新規 ― 社 (社名) 、 除外 1 社 (社名) (株)ノザキフーズ

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年6月期3Q	9,295,000 株	23年6月期	9,295,000 株
24年6月期3Q	34,545 株	23年6月期	32,652 株
24年6月期3Q	9,261,407 株	23年6月期3Q	9,263,756 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成23年7月1日～平成24年3月31日）におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興事業が内需を支え、米国景気の復調や欧州債務危機の沈静化で緩やかに回復しつつあるものの、原油高や原子力発電所の停止による電力不足懸念など依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く経営環境につきましても、緩やかなデフレ状況のなか、消費者の節約志向・低価格化志向などの影響は継続しており、引き続き厳しい状況で推移いたしました。

このような環境のなか、当社グループでは最優先に取り組んでおります「安全・安心」な商品の提供を念頭にお客様の消費動向を捉えながら、効果的な販売促進施策の推進により売上高の確保に努めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高248億17百万円（前年同四半期比10億46百万円（4.4%）の増加）、営業利益は21億89百万円（前年同四半期比5億52百万円（33.8%）の増加）、経常利益は21億74百万円（前年同四半期比5億48百万円（33.8%）の増加）、四半期純利益は10億40百万円（前年同四半期比1億28百万円（14.1%）の増加）となりました。

当社グループにおけるセグメントごとの経営成績の概況は以下の通りであります。

① 水産練製品・惣菜事業

当セグメントにおきましては、東日本大震災以降、肉食志向が継続している一方、引き続きデフレ環境のなか、競合企業との競争も依然として厳しい状況が続いております。

昨夏は早期の梅雨明けと、その後の猛暑、さらに9月中旬まで続いた残暑など、長期間に及ぶ高温の継続により、水産練製品の需要にとっては厳しい環境でしたが、秋以降は順調に推移し、さらに1月下旬からは気温の低い状態が続き、ホットメニューにとって追い風となる環境で推移いたしました。

このような環境のなか、秋冬期間の主力商品である「おでん」商品群において、「おでんセット」の商品力向上など、おでん具材のリニューアルを図り、また美味しさと簡便性から需要の拡大が続く「調理済みおでん」においても生産性の向上を図り対応してまいりました。さらに、おかず・おつまみ・お弁当など肉食需要の高まりに合わせた新商品・リニューアル商品の投入や新レシピのご提案を行うなど、販売拡大に努めてまいりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は208億23百万円（前年同四半期比11億円（5.6%）の増加）、セグメント利益（営業利益）は13億22百万円（前年同四半期は5億35百万円のセグメント利益（営業利益））となりました。

② きのこと事業

当セグメントにおきましては、引き続きデフレ環境のなか、消費マインドの低迷により販売価格は前年同四半期と比べ軟調に推移いたしました。

このような環境のなか、販売強化により販売量は前年同四半期を上回ったものの、売上高・利益は前年同四半期を下回る実績となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は35億36百万円（前年同四半期比89百万円（2.5%）の減少）、セグメント利益（営業利益）は8億4百万円（前年同四半期は10億51百万円のセグメント利益（営業利益））となりました。

③ その他

(運送・倉庫事業)

運送部門におきましては、既存顧客の輸送コスト見直しによる便数減少に加え、原油相場の高騰から燃料費がコストアップとなり、売上高・利益とも前年同四半期を下回る結果となりました。

倉庫部門におきましては、保管能力を上回る保管状況が続き、再保管関連経費が増加いたしました。が、効率的な保管業務に努めた結果、売上高・利益とも前年同四半期を上回る結果となりました。

(ゴルフ場事業)

ゴルフ場事業におきましては、長引く景気低迷や競合コースとの価格競争の激化が続いたものの、集客力向上に向けた販促企画提案による営業活動の強化に取り組んだ結果、来場者数、売上高とも前年同四半期を上回る結果となりました。

以上の結果、報告セグメントに含まれないその他の売上高は4億57百万円（前年同四半期比35百万円（8.4%）の増加）、セグメント利益（営業利益）は52百万円（前年同四半期は40百万円のセグメント利益（営業利益））となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 流動資産

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は65億51百万円（前連結会計年度末比13億38百万円の増加）となりました。これは主に季節的要因に伴う売上高増加による受取手形及び売掛金の増加によるものであります。

② 固定資産

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は136億96百万円（前連結会計年度末比11億39百万円の増加）となりました。これは主に新北海道工場建設に伴う有形固定資産の増加によるものであります。

③ 流動負債

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は94億2百万円（前連結会計年度末比17億99百万円の増加）となりました。これは主に資材調達による支払手形及び買掛金ならびに短期借入金の増加によるものであります。

④ 固定負債

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は39億50百万円（前連結会計年度末比3億57百万円の減少）となりました。これは主に役員退職慰労金の支給に伴う役員退職慰労引当金の減少によるものであります。

⑤ 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加等により68億95百万円（前連結会計年度末比10億35百万円の増加）となり、自己資本比率は前連結会計年度末の33.0%から34.1%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年7月29日発表の通期の連結業績予想につきましては、変更ありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

前連結会計年度末において当社の連結子会社であった株式会社ノザキフーズは、平成23年7月1日付で当社に吸収合併されたことにより、連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

① 会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

② 法人税率の変更等による影響

「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」(平成23年法律第114号)及び「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」(平成23年法律第117号)が平成23年12月2日に公布され、平成24年4月1日以後に開始する連結会計年度から法人税率の引下げ及び復興特別法人税の課税が行われることとなりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は従来の40.4%から、平成24年7月1日に開始する連結会計年度から平成26年7月1日に開始する連結会計年度に解消が見込まれる一時差異については37.7%に、平成27年7月1日に開始する連結会計年度以降に解消が見込まれる一時差異については35.3%となります。この税率変更による影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,000,118	1,181,941
受取手形及び売掛金	2,267,563	3,444,565
商品及び製品	418,615	307,851
仕掛品	334,943	242,273
原材料及び貯蔵品	1,041,244	1,123,802
その他	151,648	252,564
貸倒引当金	△466	△1,007
流動資産合計	5,213,667	6,551,992
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,629,885	5,449,084
機械装置及び運搬具（純額）	1,772,748	1,757,674
工具、器具及び備品（純額）	122,314	106,427
土地	3,652,781	3,652,781
リース資産（純額）	35,747	42,382
建設仮勘定	93,406	294,756
有形固定資産合計	10,306,883	11,303,106
無形固定資産	241,665	244,657
投資その他の資産		
投資有価証券	1,405,898	1,485,988
その他	671,337	731,082
貸倒引当金	△69,284	△68,385
投資その他の資産合計	2,007,950	2,148,685
固定資産合計	12,556,500	13,696,450
資産合計	17,770,167	20,248,442

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,426,867	1,697,813
短期借入金	4,640,368	5,449,572
未払法人税等	213,394	469,021
賞与引当金	100,218	197,704
未払金及び未払費用	1,073,631	1,338,753
その他	148,521	249,960
流動負債合計	7,603,001	9,402,825
固定負債		
社債	500,000	900,000
長期借入金	3,096,687	2,546,058
退職給付引当金	1,017	1,224
役員退職慰労引当金	436,566	124,047
その他	273,420	379,147
固定負債合計	4,307,691	3,950,477
負債合計	11,910,692	13,353,302
純資産の部		
株主資本		
資本金	940,000	940,000
資本剰余金	650,000	650,000
利益剰余金	4,173,724	5,121,118
自己株式	△16,471	△17,245
株主資本合計	5,747,253	6,693,872
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	112,222	201,267
その他の包括利益累計額合計	112,222	201,267
純資産合計	5,859,475	6,895,140
負債純資産合計	17,770,167	20,248,442

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成23年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成24年3月31日)
売上高	23,771,223	24,817,667
売上原価	17,007,425	17,466,013
売上総利益	6,763,797	7,351,654
販売費及び一般管理費	5,127,562	5,162,637
営業利益	1,636,235	2,189,016
営業外収益		
受取利息	212	462
受取配当金	10,799	11,488
受取賃貸料	17,285	16,587
受取手数料	31,197	22,904
雑収入	29,922	29,402
営業外収益合計	89,417	80,845
営業外費用		
支払利息	92,075	82,101
雑損失	8,091	13,563
営業外費用合計	100,166	95,664
経常利益	1,625,486	2,174,197
特別利益		
固定資産売却益	5	6,569
貸倒引当金戻入額	10,108	—
受取保険金	8,429	34,154
その他	791	1,433
特別利益合計	19,334	42,158
特別損失		
固定資産除却損	7,314	8,384
投資有価証券評価損	364	5,143
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	18,303	—
災害による損失	7,539	27,357
役員退職慰労金	—	94,171
減損損失	—	171,152
工場移転費用	—	112,380
特別損失合計	33,521	418,589
税金等調整前四半期純利益	1,611,299	1,797,765
法人税、住民税及び事業税	712,136	756,099
法人税等調整額	△12,183	1,609
法人税等合計	699,952	757,709
少数株主損益調整前四半期純利益	911,346	1,040,056
四半期純利益	911,346	1,040,056

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成23年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成24年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	911,346	1,040,056
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△37,187	89,045
その他の包括利益合計	△37,187	89,045
四半期包括利益	874,158	1,129,101
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	874,158	1,129,101
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年7月1日 至 平成24年3月31日)

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成22年7月1日 至 平成23年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	水産 練製品・ 惣菜事業	きのこ事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	19,722,518	3,626,096	23,348,614	422,609	23,771,223	—	23,771,223
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	1,168,394	1,168,394	△1,168,394	—
計	19,722,518	3,626,096	23,348,614	1,591,003	24,939,617	△1,168,394	23,771,223
セグメント利益	535,338	1,051,810	1,587,148	40,206	1,627,355	8,880	1,636,235

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送・倉庫事業、ゴルフ場事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額8,880千円は、主にセグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成23年7月1日 至 平成24年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	水産 練製品・ 惣菜事業	きのこ事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	20,823,068	3,536,616	24,359,684	457,983	24,817,667	—	24,817,667
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	1,169,015	1,169,015	△1,169,015	—
計	20,823,068	3,536,616	24,359,684	1,626,998	25,986,682	△1,169,015	24,817,667
セグメント利益	1,322,441	804,925	2,127,366	52,048	2,179,415	9,601	2,189,016

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送・倉庫事業、ゴルフ場事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額9,601千円は、主にセグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年7月1日 至 平成24年3月31日)

該当事項はありません。